

腰痛改善 理論編

その4



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : 左の腰の痛みは何の病気が…？.....	4
2 : 歩行時の腰痛の原因と対策	10
3 : 前屈で腰痛の原因と対策	14
4 : 足腰の痛みの原因は変形性・・・？.....	20
5 : デスクワークで腰痛がひどい人の正しい座り方...	24
6 : 何年も苦しんでいる腰痛や肩こりの原因が出生時の・・・？	28
7 : 未熟児での出生が原因で腰痛や肩こりに？.....	31
8 : ハイハイや寝返りの経験不足が腰痛や肩こりの原因に！！	35
9 : 腰の痛みは取れて終わりではありません.....	41
10 : ブラジルの寿司職人が腰の歪みを改善し腰痛解消！！	53

❖ 1 : 左の腰の痛みは何の病気が…？

よく、左や右の腰に痛みがあり、何の病気なのか悩んでいる人がいます。

左の腰の痛みは、何かで診てもらえばいいのか？

右の腰の痛みは、何病なのか？

こんな悩みを真剣に持っている人がいます。

しかし、この考えは、なるべく持たないようにしましょう。

なぜなら、世の中には数えきれない病気があります。

その多くの病気をすべて理解していなければ、悩んだとこ

ろで不安を増やすだけだからです。

もしかしたら、卵巣のガンでは？

前立腺がんか？

大腸癌かもしれない。

このような、悩みは、どんなに深く悩んだところで、その腰の痛みを止めることはできません。

ですので、腰の痛みが左右のどちらに出ているかは別として、まず、始めの選択は、

整形外科への受診です。

そして、レントゲンやMRIなどの検査結果により、異常が診られない場合は、まず、ほとんどの場合、病気にはなっていません。

そのため、それ以上病院を変えたり、検査を受けても、結果は同じ、

異常なし

ということになります。

けれど、腰の痛みはまだまだ残っている。

ここから先に選択すべきは、西洋医学以外の治療方法。

鍼灸でも、カイロプラクティックでも、整体でもいいでし

よう。

ただし、その先生がどの程度腰の痛みには詳しいかは十分に調べる必要があります。

西洋医学以外の治療法では、現代医学で疾患名がついてない状態の症状を得意としているものが多く、腰の痛みは、その中で最も多くの症例があるからです。

腰の左右に痛みが偏っている場合の、主な原因は、

1. 背骨や骨盤の歪み
2. 血流障害
3. 筋肉のアンバランス

などがあります。

これらが原因となっている腰の痛みは、西洋医学が最も不得意としているところなんです。

腰の痛みがなかなか治らないから、病気を疑う。

確かに気持ちはわかります。

けれど、同じ業界の医学だけで診てもらっていませんか？

西洋医学と東洋医学、さらには、整体やカイロプラクティックそしてオステオパシーなどは、痛みの捉え方にそれぞれ違いがあります。

病院で治らなくても、この日本という国では、さまざまな医学を受けれる環境があります。

ぜひ、広い視野で治してもらえるところを探してみてください。
さい。

そして、良い先生を見つけてください。

日本には、何万人も治療家があります。

絶対にあなたの悩みを改善できる人はいます。

諦めたら負けです。

だって、諦めなければ治るしかないわけですから。

❖ 2 : 歩行時の腰痛の原因と対策

歩いているとどんどん腰痛がひどくなる。

歩き始めると腰に痛みを感じるが、歩いていくと、いつの間にか腰痛を感じなくなる。

この二つの腰痛。

原因は、同じでしょうか？

違うのでしょうか？

答えは、

↓

↓

↓

まったく違います。

歩いているとどんどん腰の痛みが強くなるタイプに関しては、熱性のもの。

もしくは神経症状があるものと考えられます。

歩き出しは腰痛を感じるが、歩いているといつの間にか、腰痛を感じなくなる場合は、冷えの現象です。

当然、二つの腰痛は、対策方法が全く違います。

熱があれば、冷やす必要があります。

神経症状があれば、神経を圧迫している場所を開放させる必要があります。

冷えがあれば、温める必要があります。

歩く機会が、大分少なくなってきている今日この頃。

歩くための筋肉や関節の動きができにくい身体になっている人が多く見られます。

しかし、食事を取りに行くにも、トイレへ行くにも、お風呂に入るにも、必ずと言っていいほど歩く必要があります。

歩くからには、歩けるだけの筋力や関節の動きが必要になります。

何の準備もなく、歩こうと思っても、そう簡単に身体が動いてはくれません。

逆に、普段から歩いてばかりの人もいます。

この場合は、筋肉の疲労が起きやすく、そのため炎症が起きる機会が増えます。

また、使いすぎた関節も傷みやすく、腰椎椎間板ヘルニアや、脊椎分離症、すべり症、脊柱管狭窄症などの神経症状を発症するような腰になってしまうこともあります。

このように、それぞれの痛みに特徴的な原因があります。

そのため、腰痛対策も改善策も様々な方法を、それぞれにあったものの選択をしなければなりません。

単純に腰が痛いからと言っても、原因も治療方法も違うということがわかっていただけたでしょうか？

❖ 3 : 前屈で腰痛の原因と対策

身体を前に倒す（前屈）と、腰に痛みを感じることはよくありますよね！

この腰痛の原因はわかりますか？

誰もが、腰の炎症と思うでしょう。

歪みが原因という人もいるかもしれませんね！

けれど、この腰痛のほとんどは、足にあるんです。

中国医学では、

背中や腰の病は委中で治す

という考えがあります。

この委中とは、どこのことかという、膝の裏側のツボの名前なんですね！

そして、この膝の裏につながってくる筋肉には、ふくらはぎの下腿三頭筋と、足の裏から伸びている足底筋になります。

なぜ、これらの筋肉に刺激を入れると、背中や腰の問題が改善するのか？

ここで、腰を前に曲げるように前屈する時を想像してみてください。

自分自身でやってみてもわかると思いますが、この動作時には、腰が伸びている感じよりも、足の後ろ側に突っ張り感を感じませんか？

「感じる！！」

と、言ってしまった人は、このタイプの腰痛になりやすい人と言えるでしょう。

そうなんです。

前屈するときに、真っ先に伸びていく筋肉は、足底⇒ふくらはぎ⇒太ももの裏⇒お尻⇒腰⇒背中という順番で伸びていくわけです。

そのため、腰や背中に問題が起きた場合は、順番的に足の筋肉を診ていく方が、原因を見つけやすいわけです。

前屈するときに、腰よりもむしろ、ふくらはぎや太ももの裏側が突っ張るという場合、もっと、深く曲げようとしたら、それ以上足の筋肉を伸ばすことはできません。

ツッパリ感を感じているにもかかわらず、無理に前屈すれば、足の裏側の筋肉を傷つけてしまいます。

たまに、この動作によって、太ももやふくらはぎに肉離れを起こす人がいますが、これは自爆行為ですね！

けれど、普段からどの程度の柔軟性があるのかを認識していないと、自分の身体がどこまで動かせるのかがわかりません。

となると、下に物を落としてしまった場合。

今の自分の柔軟性では、腰だけ曲げて取ることは危険だから、まずは、膝を曲げて、ある程度床に近づいたら、腰を徐々に曲げていけば、痛みを出さずに物を取ることができるな！なんて、考える人は誰もいませんよね！！

当然、「あっ！落としちゃった！！」と、思った瞬間に、前屈し物を拾おうとします。

この時に、ふくらはぎの筋肉が弱くなっていれば、ふくらはぎを、太ももの裏側の筋肉が弱っていれば、太ももの裏側を痛めます。

そして、腰の筋肉が弱っていれば、腰を痛めるということになるんですね！

昔の人は、このようなことを経験で感じ取り、腰が痛いからと言って腰の治療だけをするよりも、原因である足の治療をしっかりしてあげた方が、

腰痛を根本的に治すことができる

ということを、理解していたわけですね！

腰が痛いから、腰に湿布を貼って、痛みが消えたから、「はあ、良かった！！」と、それで、腰のケアを終わりにしてしまうと、足の筋肉はそのままですので、また同じことの繰り返しになる可能性が高くなります。

しかし、前屈で腰痛を感じた段階で、「あっ！これは、足の柔軟性が落ちてきた証拠なんだな！」と、気づき、足の柔軟性を高める努力をすれば、その後に同じような腰痛で苦しむことはなくなるわけです。

症状を取り除くことも大事ですが、症状の根本を知り、原因から改善していくことで、以後の腰痛予防になるわけです。

❖ 4 : 足腰の痛みの原因は変形性・・・？

先日、某テレビ局の某番組で、足腰の痛みの原因は？ということをやっていました。

見た方はいらっしゃいますか？

膝や腰に痛みがあり、病院で検査をすると、一切異常は見られない。

けれど、痛みはなかなか取れない。

そんな痛みを、現在日本では、300 万から 400 万人も抱えている。

その原因が、意外にも膝や腰ではなく、股関節にあったと

いう内容。

あなたはどう感じましたか？

「あっ！！私の痛みは股関節なのかも？」と、整形外科へ
駆け込みましたか？

実際に、番組では膝や腰が痛くとも、患者本人が股関節も
検査をしてもらうように勧めていました。

検査をするのは自由ですし、ある程度全体をチェックする
ことはいいことだと思います。

けれど、番組では、股関節の問題は、そのような痛みを抱
えている人は、股関節が破壊されている可能性があると言
っていました。

ということは、国民の 300 万人以上の人が、股関節を人工関節にしなければならないと、言っているように捉えられるような内容でした。

しかし、検査をしても異常がない腰やひざの痛みは、ほとんどの場合、筋肉の異常が問題になっていることが多いんです。

ですので、筋肉のストレッチをしたり、筋肉に軽い刺激の鍼灸を行うことで、意外なほど簡単に痛みを改善できることが非常に多くあります。

この番組では、そんな簡単なものではないように語っていましたが、最近は、不安をあおる番組が増えていて、非常に不愉快に感じます。

確かに、股関節が変形性股関節症になっていれば、腰や膝、足首の痛みが出ることはあります。

けれど、300 万人以上もいるなんてことはありません。

まあ、整形外科としたら、これだけの患者さんを、人工関節に変えるような手術をしたら、かなり懐が温まるとは思いますが、手術をされて喜ぶ患者さんは、おそらくほんのほんの人握り。

0. 1%いるかいらないか？

というぐらいの数値だと思います。

自分自身の身体ですから、手術をするのもしないのも本人次第ですが、本当のところはどうなっているのか？

しっかり考えられるようになるといいですね！！

❖ 5 : デスクワークで腰痛がひどい人の正しい座り方

デスクワークをしていると、腰痛が出てしまい仕事にならない。

すると、人から、「姿勢が悪いからだ！！」と、言われる。

そして、正しい姿勢とはどのようなものなのだろうか？と、悩み疲れている人が多く見られます。

あなたは、正しい姿勢を身に着けたいと思いますか？

先日も患者さんが、このようなクッションを買うかどうかで相談を受けました。

私の答えは、「必要ありません。」

こう聞くと、「お前が腰痛を治すから必要ないってことか？」と、勘違いされる方もいらっしゃると思うので、少し解説しますね！

座っている間に起こる腰痛というのは、

- 腰から上の重さを腰で支えることができない筋力だった。
- 同じ姿勢を続けたため、血液循環が悪くなってしまった。

このようなことが原因なわけです。

ってことは、良い姿勢を保つとかは、どうでもいいってことに気がつくと思います。

わかりませんか？

腰から上の重さを支えられないということは、筋力を鍛える必要があるということです。

しかし、良い姿勢を保っていても筋力は鍛えられません。

また、血液循環が悪くなった原因には、

- 呼吸が浅い
- 筋肉が硬い
- 筋肉が少ない

ということが考えられます。

こちら、正しい姿勢を作ることでは改善できるものではありません。

確かに、正しい姿勢を保つことで、上記のようなクッションをはじめから使っていれば、腰痛予防にはなります。

ただ、あくまでも、腰痛予防であって、腰痛改善ではないのです。

要は、まったく腰痛を経験していない人には有効的だけど、一度でも座っていて腰痛を感じるようになったら、まったく効果はないということになるんです。

ただ、腰痛でも、今まで動いているときにしか痛みを感じていない人にとっては、

座っている時の腰痛予防

として使えます。

理解できましたか？

❖ 6 : 何年も苦しんでいる腰痛や肩こりの原因が出生時の・・・？

肩こりや腰痛が小さい頃からあって、今まで一度もスッキリしたことがない。

こんな経験をされている人が意外に多い。

一般的な考えでは、社会人になってから経験するのが、腰痛や肩こりの定番。

けれど、中には、物心ついた時には、すでに肩こりがあった。

または、小学生の時に、ぎっくり腰で悩んでいた。

なんて人もいる。

この現象、実はいろんなことが重なって出ている現象なんです。その原因の多くは、

- 未熟児で出生
- ハイハイや寝返りの経験不足

この二つが中心になっていることが多い。

ポイントは、肩関節や股関節を支える筋肉がついているかどうか？

ここをチェックすると、ほぼ100%上記の原因に結びつくことが、理解できる。

けれど、意外と出生後の様子を知っている人が少なくなく、
親に聞いてもらって初めて真実を知ることも多い。

では、どうして腰痛や肩こりの原因が、未熟児やハイハイ
などにつながってくるのかを、次回、書いてみることにし
ます。

❖ 7 : 未熟児での出生が原因で腰痛や肩こりに？

前回は、小さい頃から腰痛や肩こりに悩まれている人の原因が、

- 未熟児で出生
- ハイハイや寝返りの経験不足

などが中心になっているということを書きました。

今回は、そのことについて、細かく書いていこうと思います。

未熟児での出生が原因で腰痛・肩こり

現代医学が発達すればするほど、未熟児での出生が多くなる。

なぜなら、出産時には、母体にも胎児にも危険なことが多いからだ。

そのため、少しでも安全策を取ると考えた時に、早産を選択することになる。

そして、現代医学をもってすれば、数100gで出生されたとしても生きていける。

けれど、母体内で作られる身体が、体外で作られる身体とは、やはり違って成長してしまう。

とはいっても、母子ともに生きているのだから良しとしな

ければならない。

しかし、この代償として、腰痛・肩こりになってしまうことがある。

それは、未熟児で生まれた子供の特徴として、手足の太さに問題があることが非常に多いからだ。

肘から先と、膝から下の部分が、異常にしっかりしているのにも関わらず、肩から肘、股関節から膝の部分の筋肉がほっそりしている。

これは、本能的に同じ年代の子と比べて、身体や力が、弱いという自覚がありつつ、成長していった結果の物ではないだろうか？

他の子よりも力が弱ければ、無理に力を使おうとするため、指先に近いところで筋力を使い成長しやすくなる。

また、成長過程で、最も重要なところは、脳と内臓。

次に五感と指先。

そのため、必要な栄養素を、重要なところから配給するため、上腕や大腿の成長が遅れてしまった。

こう考えることができる。

❖ 8 : ハイハイや寝返りの経験不足が腰痛や肩こりの原因に！！

さて、今回は、腰痛や肩こりが小さい頃から癖になっている人の原因として、

- 未熟児で出生
- ハイハイや寝返りの経験不足

などがあると書いてきましたが、今回は、ハイハイや寝返りが、原因となるということを書いていきます。

ハイハイや寝返りの経験不足が腰痛や肩こりの原因に！！

育児で、最も気をつけなければならないかもしれないハイハイや寝返り。

親によっては、寝返りを打たないように躑たり、誰よりも早く立てるようにしてしまうことがある。

これ、実は、肩や股関節の脱臼や痛みを作る大本になる事が実に多いんです。

なぜなら、元々人間は四本足の動物。

ですので、成長過程もまずは、四足歩行を覚えてからでないと、内臓も手足を中心とした骨格も、整わないばかりか、成長過程でたくさんの問題を作ってしまう源になってしまいうんです。

特に、胃腸の問題や肩・腰の問題が出しやすく、原因不明のつらさの原因になることが少なくありません。

ハイハイや寝返りが少ない状態で、成長してしまった場合には、肩関節や股関節のいわゆるインナーマッスルが、足りない場合が多い。

そのため、肩や脚を動かす時に、自然とした動きが取れない。

肩を動かす時には、首や肩に力が入った状態でしか、腕を自由に動かすことができない。

脚を動かす時も同じように、腰に力が入らなければ、脚を自由に動かすことができない。

その結果、通常の人と比べて、力が入る場所が一定になってしまう事が多くなる分、こり感や痛みを感じるようになってしまう。

ハンマー投げの室伏広治選手も、ベテランになるにつれ、肉体の限界を感じつつある中で、今までトレーニングしていなかった、幼少時に鍛えられる筋肉を、再度鍛えなおすことで、さらにレベルアップすることに成功した。

それが、赤ちゃんトレーニング。

ハイハイや寝返りの動作を研究し、その動きをトレーニングに取り入れる。

これは、私がかかなり前から、患者さんに勧めていた運動とほぼ同じ。

赤ちゃんの時に動きたいだけ動かすことが、強い身体を作り出す源と言ってもいい。

しかし、大人が喜ぶから、子どもながらに喜ばせようと立ち上がってしまう。

もしくは、動き回らないように、小さなベッドから出さないでいる。

これが、子どもが成長した後に、大問題を引き起こすとは知らずにやっている。

まず、子どもがハイハイもせず立ち上がったら、大人が寝転ぶぐらいはしなければならない。

子どもは、目線を合したいもの。

上から目線で話してばかりいれば、自分が大人の視線に合わせるしかない。

逆に、大人が寝転がってくれれば、子どもは焦らず自由に成長ができる。

あなたは、どのような子育てをしていますか？

また、あなたの肩こりや腰痛は、このような原因を持っていませんか？

もし、すでに腰痛や肩こりがあるのであれば、今からでも、ハイハイや寝返りが改善へのカギを握っているかもしれません。

もちろん、未熟児で出生された方も効果はあります。

赤ちゃんのマネをするのは、恥ずかしいかもしれませんが、腰痛や肩こりが治るとしたら、どうですか？

❖ 9 : 腰の痛みは取れて終わりではありません

腰が痛み、整形外科でヘルニアではないと言われた。

じゃあ、この腰の痛みは何なのか？

前回の記事でここまでは書いてきました。

[腰の痛みを整形外科で検査しヘルニアではないと言われた](#)

[ら???](#)

読まれてない場合は、まず、上記から読んでみてください。

腰の痛みの原因とは？

腰の痛みの症状は、立つ、座るとき、かがむときに痛む。

筋肉痛は経験ありますか？

打撲は経験ありますか？

切り傷の経験はありますか？

これらの怪我は、全て疾患名ではありません。

しかし、これらの痛み方は、どんな動きでも痛むことが多いですよね！！

どんなスポーツを行っても、筋肉は傷めます。

これは、痛い痛くない関係なく、どのスポーツでも筋肉は

傷んでいるんです。

だから疲労が起こるわけですから。

しかも、

>レントゲンを撮ったんですが腰椎の5番目（最後）の骨が削れてるようになって高いところと低いところで1cm ぐらい差があり、それが原因とってました。

ということであれば、明らかに

歪みがある

ことは確認できたということになります。

腰痛の原因と考えられる歪みの原因は？

問題は、その歪みがサッカーで作られたものなのか？

それとも、元々あった歪みの影響でサッカー中に痛みを作ってしまったものなのか？

これが、重要ポイントです。

もし、サッカーで作った歪みなのであれば、

- 同じ足ばかりでボールを蹴っていた
- 誰かが背中からぶつかってきた
- 何度か転倒した
- サッカー中にグラウンドに足を取られ転びそうになった

などがあつたはずです。

元々歪みがあつたのであれば、

- 椅子に座るときに足を組む癖がある
- 椅子の肘掛け片側に体重をかける癖がある
- ねじれた格好で寝る癖がある
- 立っている時には必ず片足に体重をかけている
- 腰をねじってポキッと音を出すことが好き

このようなことがあるはずですよ。

どうですか？

どちらの可能性が高いですか？

腰痛は痛みが取れたから治ったということではない？

どちらの影響による痛みであれ、痛みが消えたからと言って、そのままにしていたら、数年後に、もっとひどい腰痛が出てきます。

これは、ほぼ間違いのない事実です。

痛みは根本から正しておくべきです。

あなたの腰痛の原因がどのようなものなのか？

どのようにすれば、その歪みは改善できるようになるのか？

ボキボキ整体などで、無理やり骨を矯正することで、正し

い位置に戻すことは極々簡単なことです。

けれど、そのような矯正が必要な歪みは実際問題、かなりまれなケースなんです。

基本は、

筋肉のバランス異常。

ですので、腰の痛みが完全になっても、筋肉のバランスが悪ければ、痛みは再発します。

腰にこなくても、膝や背中、肩などに出ることも稀ではありません。

あなたの腰痛の原因は歪みです。

腰痛の原因である歪みの原因は？

でも、その歪みの原因は、何ですか？

知っているのは、あなただけです。

歪みの原因が、分かったら教えてくださいね！！

かなり厳しいことを書いてゴメンナサイ。

けれど、本当に多いんです。

あなたのように、痛みと病気を結び付けようと真剣に考えている人が・・・。

もっと、強く生きてください。

人間はそんな軟なものではありません。

病気が怖いなら、病気を恐れることよりも、病気を知ることです。

今は大量に勉強している時期だと思います。

学校の勉強だけでは、世の中生きてはいけません。

生きていくために学ぶことは、学校教育なんかよりもはるかに多いのです。

今から不安に思っているということは、すでに生きていくための学びが足りないということを、腰を痛めるという体験を通して知ったわけです。

まだまだ、頭が柔らかい今、どんどん学びを深めてください。

腰の病気を考えるのであれば、どのような病気があるのか必死に探してみてください。

そして、その病気の検査を受けてみてください。

そして、どれだけ勉強すれば理解できるのかと悩んでください。

**どんどん勉強して、行動して、壁にぶつかり、
ひっくり返り、痛みに立ち向かい、また突き進む。**

そのような行動が、どんどんあなたを強くします。

弱くなりたければ、今のままでいいのですが、すでにあなたは、何かを学ぼうと、私にメールを送ってくれました。

だから、このような事を私は言います。

あなたはそんな痛みに負ける人間ではない。

あなたの人生は、これから果てしなく長い道を歩まなければなりません。

今回の、腰の痛みは、この瞬間に解決してください。

そして、もっともっと大きな、もっと多くのことを学んでください。

あなたに、どのように響くかはわかりません。

しかし、このような痛みは、悩むほどのことではないのです。

問題は、

痛みを感じずに生きてきてしまった

ということ。

これは、いじめにも通じるものです。

痛みというのは貴重な体験です。

できるだけ、子供の時に多くの痛みを体験してほしいものです。

❖ 10 : ブラジルの寿司職人が腰の歪みを改善し腰痛解消！！

先日、ブラジルの寿司職人の方から、このブログを読んでいるというメッセージをいただきました。

インターネットというのは、どこまですごいものなんでしょうか？

別に、ブラジルの人に向けて広告を出したわけでもないのに、単なる、一鍼灸師のたわごとが、伝わってしまう。

すごい世の中になってしまったものですね！

ただ、どんなに名前の売れていない、普通の人でさえ、このように、たくさんの人に、自分の言いたいことを伝える

ことができるということも言えるわけです。

また、この方は、骨盤の歪みを持っていて、独自の勉強にて、知人に同じ悩みを持っている人がいれば、治すこともできるようになっているとのこと。

これも一見すごいことですよ！

おそらく、骨盤の歪みからくる、腰痛や腰周辺の違和感や痛みに関して、日本の整形外科医のほとんどがお手上げの症状です。

けれど、歪みの概念を持っていると、ほんの少しのことで、たちまちに症状を無くしてしまうことができます。

その代表的なものが、カイロプラクティックや整体なわけ

です。

けれど、カイロプラクティックや整体は、治療方法としては優れているにもかかわらず、日本での立ち位置はかなり低く、いまだに国家資格がありません。

そのため、カイロプラクティックや整体の技術を身につけるための学校は、かなりレベルの差があるのが現状。

しかし、一般的には、治療院関係の中では、最も治る可能性が高いように感じられていることが多い。

このような不思議な医療事情が、日本にはあります。

歪みの概念は、できれば、ほぼ全員が持っておいた方がいい知識。

しかし、専門学校や専門書によっても、歪みの概念がさまざままで、正しい知識を身につけるのが非常に困難な状態です。

ところが、どんな知識よりも**実践的な体験**というものをするだけで、たちまち専門家以上の能力を身につけることができるのが、この歪み治療なんです。

ただし、この方のように、誰かの症状を改善するために、何らかの方法を使い、改善できたとしても、商売として、お金をもらってしまうと、日本では法律に引っかかってしまいますので、あくまでも**無料**で行うことが重要です。

今回のメッセージで、感じたことは、ブラジルにも整体の概念は、まだまだ伝わっていないのかな？ということ。

日本人の数は多いはずなので、整体を知っている人は多い。

日本で実績を積んで、ブラジルのような、治療技術がまだまだ足りない国で、活躍するというのも、面白いかもしれませんね！

まあ、私は、この日本という国が好きで、海外に出ることは全く考えていませんが、海外志向が強い人にとっては、魅力的な仕事になるかもしれませんね！

ブラジルの寿司屋さんのように、整体院や鍼灸院を開業すると、どのような現象が起こるのか？

想像すると楽しくなってきますね！

私だけかな？（笑、笑）

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを無料でプレゼントさせていただきます。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス
キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生